



平成 29 年度

# 事業報告書

一般社団法人 北海道軽種馬振興公社

## 平成29年度事業報告（平成29年4月1日から平成30年3月31日）

当社は、ホッカイドウ競馬を継続かつ安定的に運営し平成28年3月に北海道が策定した第2期「北海道競馬推進プラン」を着実に推進するため、「北海道競馬の実施に関する業務」の委託を受け、馬産地の豊富な馬資源と屋内調教用坂路など競馬場施設の効率的利用を基本とし競馬事業の運営にあたった。

### 1. 公社運営に関する会議等

#### (1) 総会

##### ア 第41回通常総会

平成29年6月26日

- ・平成28年度事業報告
- ・貸借対照表及び損益計算書、公益目的支出計画実施報告書について
- ・役員を選任について

#### (2) 理事会

##### ア 平成29年度第1回理事会

平成29年6月12日

- ・平成28年度事業報告
- ・貸借対照表及び損益計算書、公益目的支出計画実施報告書について
- ・第41回通常総会の開催について

##### イ 平成29年度第2回理事会

平成29年6月26日

- ・理事長、副理事長及び専務理事の選定について

##### ウ 平成29年度第3回理事会

平成29年9月21日

- ・平成29年度ホッカイドウ競馬開催状況について

##### エ 平成29年度第4回理事会

平成29年11月24日

- ・平成29年度ホッカイドウ競馬開催結果について
- ・平成30年度ホッカイドウ競馬開催日程（案）について

##### オ 平成29年度理事会視察調査

平成29年11月29日

- ・特別区競馬組合 大井競馬場視察調査について

##### カ 平成29年度第5回理事会

平成30年3月23日

- ・事業運営の基本方針
- ・平成30年度事業計画案及び収支予算案
- ・規則の一部改正について

#### (3) 監査

##### 監事監査

平成29年5月29日

- ・平成28年度事業報告並びに収支決算に係る監査

## 2. 北海道競馬実施事業

### (1) 競馬事業費について

公社が道から委託及び補助を受け業務を実施した。

### (2) 開催日程について

平成29年度のホッカイドウ競馬は、全日程を門別競馬場グランシャリオナイターとして開催し、濃霧などの影響により9競走取り止めとなったが、南関東や他地区との相互発売、インターネット、電話投票などによる発売拡大に努め、発売額は246億4,100万円で、前年比：121.1%、計画比：114%という結果となった。(15開催80日間 4月18日から11月9日)

また、非開催日においても、地方競馬(南関東・ばんえい競馬等)やJRAといった他主催者の場外発売により収益確保に努めた。

※ 4月26日・9月6日の2日間で計9競走を濃霧のため競走取止め

### (3) 報償費について

春期における馬資源確保のため、3歳馬転入促進策を3歳以上に拡大し輸送費を補助するとともに2歳の出走手当の増額、3歳以上についてはクラス別に出走手当を見直し増額した。

本賞金については3歳以上の重賞競走2競走の1着本賞金を500万円に増額、2歳及び3歳以上の最上位クラスの特別競走1着本賞金を100万円に増額した。

なお、(一社)ジャパンプリーダーズカップ協会(以下「JBC協会」という。)などから1着報奨金などの支援を頂き魅力ある競馬番組の提供に努めた。

### (4) 発売拡大の取り組み

平成29年度の主要イベントは、テーマの明確化、事前告知の拡大、場外発売所との連携を柱に、効果的な集客と新規ファンの獲得、リピーターの拡大に努めた。

また、道外発売については馬柱等の情報提供の拡充、南関東ほか、他地域での発売拡大に取り組むとともに、電話、インターネット、JRA ネット投票での発売拡大を図った。

さらに、場外発売所においては引き続きJRA 発売を実施し、収益確保とJRA ファンの取り込みに努めた。

## ア 集客イベント

主要イベントのテーマを明確化、幅広い層のファンに楽しんでもらえるよう各種イベントを実施した。

主なイベントとして

- ・開幕サンクスデー(4月18日)
- ・春のケイバまつり(5月3日～4日)
- ・シュエット・ジュマン・フェスティバル(8月15日～17日)

- ・秋の大抽選会（9月20日・21日）
- ・ファン感謝DAY（11月9日）

## イ 他主催者との連携強化による相互発売

南関東とホッカイドウ競馬の相互発売拡大を図る目的から、実施されている川崎競馬場における全レース発売や、大井・船橋競馬場ナイター3レース発売を実施するとともに、浦和の昼間3レース発売の拡大に努めた。

## ウ 電話・インターネット投票

情報提供の拡充などを積極的に推進し、好調に推移しているインターネット投票による発売拡大に努めた。特に、JRAネット投票の発売については71日間（昨年実績62日間）実施した。

## エ 全国発売競走

全国重賞シリーズであるグランダム・ジャパン、ダービーシリーズ、スーパースプリント競走、未来優駿などのシリーズ競走に参画し、全国発売による発売拡大を図った。

## オ JRA 発売

ホッカイドウ競馬の場外発売所におけるJRA全レースを発売（Aiba札幌中央はメインレースのみ）（110日間：昨年107日間）するとともに、昨年に引き続きG1競走の前売り発売をすることにより更なる収益確保に努めた。

## (5)競馬番組について

競馬番組は、競馬事業の根幹部分であることから、ファンに魅力ある競走を提供していくことが重要である。

ホッカイドウ競馬は他の地方競馬とは異なり、2歳馬戦が競走の約4割を占め、その翌年には全国の競馬場へ多くの活躍馬を輩出し、全国の競馬ファン等から注目されている中で、距離適性に応じたスプリント、マイル、中距離のバリエーション豊かな競走距離を編成することにより競馬番組の充実を図った。

また、年間を通じた2歳馬の概定番組を発表することにより、馬主及び調教師等の関係者が出走させやすい環境を整えるとともに、競馬ファンが注目する興味ある競馬番組づくりに努めた。

## ア JRA 認定競走

JRA協力金のもと、全国最多の105競走を実施した。

- ・重賞競走等 9競走
- ・ウィナーズ 14競走
- ・フレッシュ 47競走
- ・アタック 35競走

## イ JBC 協会協賛 スタリオンシリーズ競走

ホッカイドウ競馬の特色ある競走として定着し、全国から注目されているスタリオンシリーズ競走を、JBC 協会のご支援のもと全 43 競走実施した。

- ・重賞競走 23 競走
- ・特別競走（3 歳以上） 4 競走
- ・スタリオンプレミアムシリーズ競走 16 競走

## ウ JBC 協会協賛「きゅう舎スタッフ特別賞」

きゅう舎関係者の技術向上と意欲の向上を図るため、JBC 協会のご支援のもと重賞競走及び 3 歳条件競走で優勝したきゅう舎に特別賞を交付する JBC 協会「きゅう舎スタッフ特別賞」を贈呈した。

- ・対象競走
  - 2 歳重賞競走 9 競走
  - 3 歳重賞競走 3 競走
  - 3 歳条件競走 24 競走
- ・交付金
  - 重賞競走 10 万円
  - 3 歳条件競走 5 万円

## エ 公益社団法人日本軽種馬協会による副賞贈呈事業

牝馬の所有意欲の継続と牝馬限定競走の維持拡大による軽種馬生産経営安定化に資する観点から、日本軽種馬協会の支援のもと実施する「牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」について全 52 競走を対象に実施した。

## オ 平成29年度2歳優良馬導入促進事業の実施

良質な 2 歳馬の地方競馬への早期入厩促進を図ることを目的に、地方競馬全国協会が実施する事業を活用し、2 歳限定競走（JRA 認定競走を除く）において付加賞金を 1 着馬から 3 着馬までの馬主に贈呈した。

- ・付加賞金（進上金、番組賞金加算対象外）
  - 1 着 50 万円, 2 着 10 万円, 3 着 7.5 万円
- ・実施競走数 45 競走

## カ 地方競馬全国協会シリーズ競走への参加

### ・スーパースプリント

短距離競走をシリーズ化して実施する「スーパースプリントシリーズ」に参加。

- ・対象競走 「グランシャリオ門別スプリント(ミッキーアイル賞)」1 着本賞金 250 万円

実施日 6 月 21 日（水）距離 1,000m

### ・グランダム・ジャパン

牝馬重賞競走をシリーズ化して実施する「全国牝馬重賞シリーズグランダム・ジャパン」に参加。

#### ・対象競走「ノースクイーンカップ(キングスベスト賞)」 1着本賞金500万円

実施日 7月20日 (木) 距離1,800m

#### ・対象競走「フリーダースコールドカップ」 1着本賞金2,500万円

実施日 8月17日 (木) 距離2,000m

#### ・対象競走「エーテルワイス賞」 1着本賞金2,000万円

実施日 10月12日 (木) 距離1,200m

### ・ダービーシリーズ

ジャパンダートダービーに向けた地方競馬の3歳重賞体系整備を目的とし、全国8カ所で実施されるダービーシリーズに参加。

#### ・対象競走「北海優駿 H1(エイソフフラッシュ賞)」1着本賞金 500万円

実施日 6月1日 (木) 距離2,000m

### ・未来優駿

兵庫ジュニアグランプリや全日本2歳優駿に向けた2歳重賞体系整備を目的に設定され、全国7カ所で実施される「未来優駿」に参加。

#### ・対象競走「サッポロクラシックカップ H2(パイロ賞)」1着賞金 300万円

実施日 10月25日 (水) 距離1,200m

### ・ヤングジョッキーズシリーズ

若手騎手の騎乗数の増加及び騎乗技術向上を図るためJRAと地方の見習騎手が参加する騎手交流競走を「2017 ヤングジョッキーズ トライアルラウンド門別」として実施した。

実施日 7月27日 (木) 2競走

## (6) ファンサービスについて

門別競馬場が主场化、グランシャリオナイターとして9年目を迎えた平成29年度は、これまでの取り組みを踏まえ、インターネット及びスポーツ新聞を利用した情報提供など道内外ファンへの情報提供の充実や、来場者に対するホスピタリティの高いファンサービスの提供などにより、更なるファン拡大と発売促進に努めた。

### ア ポイントカードUmacaの充実

来場ポイントカードUmacaポイント付与方法や賞品を充実させ、また、キャンペーンの概要を広く告知することで来場の促進と充実したファンサービスの提供を図った。

(カード会員数3,000人強、賞金総額150万円)

## イ ニコニコ生放送での競馬中継

南関東で実施しているニコニコ生放送での競馬中継を実施することにより、若年層(次世代の競馬ファン)へホッカイドウ競馬をアピールした。

(1日平均延べ視聴数25,000人)

## ウ 地域吹奏学部によりファンファーレ演奏

特異日において、静内高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏を実施した。

静内高校吹奏楽部 ブリーダーズゴールドカップ(8月17日)

道営記念(11月9日)

## エ イベント広場の活用

北海道の四季に合わせた春・夏・秋のイベントを実施するとともに、「ひだか特産市」など地元食材や観光PRを合わせて実施することにより、日高管内及び門別競馬場のPRに努めた。

- ・春のケイバまつり  
リボンちゃんゲーム大会・ポニー体験乗馬など
- ・北海道スプリントカップイベント  
北風沙織による「ちびっこランニングクリニック」など
- ・シュエット・ジュマン・フェスティバル  
STVラジオ公開生放送「まるごと!エンタメーション」  
マック鈴木に挑戦「スピードガンコンテスト」など
- ・ファン感謝デー  
大型テントを設置しての石狩鍋のふるまいサービスや優勝馬写真展

## オ 道外新聞への馬柱掲載の充実

発売額が好調に推移しているインターネット及び電話投票の発売拡大策を図るため、札幌馬主協会様等からのご支援により、関東・東海・関西エリアのスポーツ新聞に馬柱掲載を行った。

(サンケイスポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、

東京スポーツ、中京スポーツ、大阪スポーツ、九州スポーツ 8紙2レース掲載)

また、週刊競馬ブックでの重賞競走馬柱掲載やブックオンライン(ホームページ)から重賞予想データ無料ダウンロードを実施した。

## カ SPAT4との連携

南関東電話投票(SPAT4)との連携により、会員へのメール配信・ホッカイドウ競馬情報の郵送・動画配信やプレミアムポイントキャンペーンの実施により発売拡大を図った。

## キ 札幌からの無料送迎バス運行

開催日（80日間）に札幌駅北口から門別競馬場までの無料送迎バスを毎日運行し、札幌圏から門別競馬場への来場促進を図るとともに、来場者が多く見込まれる“ケイバまつり”等には臨時便を運行するなど、効果的な集客策に努めた。

・総乗車数 延べ2,443名（対前年比 100.5%）

#### **（7）北海道著名企業とのコラボレーション**

北海道を代表する企業とのコラボレーションをより一層図り、「MADE IN HOKKAIDO KEIBA」をスローガンに、オール北海道として様々なイベントを実施し、ホッカイドウ競馬により親しめるよう、著名企業とのタイアップを積極的に推進した。

- ・サッポロビール、ポッカサッポロ  
春のケイバまつりでの協賛競走実施やプレゼント抽選会など
- ・AIRDO サンクスデー  
機内販売スープの試飲会やオリジナルグッズ抽選会など
- ・ホクレンDAY  
ゆめびりかななどの先着プレゼントや北海道農業クイズ大会など
- ・北海道コンサドーレ札幌DAY  
吉原宏太コーチのサッカー教室やサポーターバスツアーなど
- ・ソメスサドル  
フルールカップ競走の冠協賛や抽選会への賞品提供など

#### **（8）門別競馬場を活用した馬産地の活性化（公益目的実施事業）**

法人移行に合わせて公益目的実施事業として、軽種馬生産の振興と馬産地の活性化に資するための各種イベントを実施した。

- ・シュエット・ジュマン・フェスティバル（ポニー体験乗馬ほか）

#### **（9）門別競馬場団体来場者の誘致**

旅行代理店が運営している日高バスツアー行程の一つとして、門別競馬場の提供や、とねっこジンギスカンをグループで楽しむPRすることで、団体客の来場促進を図り、門別競馬場の認知度向上に努めた。

- ・団体来場者数 242団体 4,467名（28年度 118団体 2,749名）

#### **附属明細書**

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。